

里山の恵みと人の輝くふるさとづくり ～君の自立、ぼくの自立がふるさとの自立～

福島県 二本松市 (にほんまつし)



道の駅直売所へ農産物を出荷する会員。「ゆづきの里東和」では年2回栽培講習会を実施し、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいる。



「桑の葉」、「桑の実」を活用した商品。桑の葉パウダー、桑茶、桑の実ジャム、桑の実ドリンク、桑焼酎、桑パン、菓子類など数多くの特産品を開発。



東和地域の情報発信、交流、地域づくり活動の拠点となっている「道の駅ふくしま東和あぶくま館」。

事例の概要

● 二本松市東和地域（旧東和町）は、福島県中通りの阿武隈山系の山懐に位置し、桑畑と棚田が点在する、歴史と文化のいきづく中山間地域にある。NPO 法人 ゆづきの里東和ふるさとづくり協議会は、平成 17 年の 1 市 3 町（二本松市・安達町・岩代町・東和町）の合併を前に、これまで積み上げてきた旧東和町のそれぞれの活動を継続発展させたい、また、高齢化、過疎化の進行を食い止めたい、地域の声を行政に届けて行政と一緒に自分たちの地域を守りたいとの住民の強い願いから、地域づくりの NPO 法人として平成 17 年に設立された。

● 活動内容は、東和地域の自然豊かな里山の恵みを生かした地域資源循環型のふるさとづくり、農家、商店、行政及び企業のパートナーシップによる農産物、特産品づくり、「道の駅」を拠点とした都市との交流・健康づくりなど多岐に及んでおり、生きがいや働きがいのある元気な地域づくりを目指し、住民が主体となって様々な事業を展開している。なお、名称の「ゆづき」は、「有機農業」「有機的な人間関係」「勇気」の3つを意味している。

評価のポイント

二本松市は、平成 17 年 12 月に二本松市・安達町・岩代町・東和町の 4 市町が合併し、NPO 法人ゆづきの里東和ふるさとづくり協議会が活動している旧東和町地域、旧岩代町地域が一部過疎地域となっている。同協議会は、「自立する地域づくり」をテーマに、「道の駅ふくしま東和あぶくま館」を拠点として、安全安心な農産物の生産・加工・販売、桑を始めとした特産品開発、都市との交流や定住・二地域居住の促進、健康づくり活動など市や県、関係団体と連携し、事業を展開している。中でも、交流定住促進では、県外の中・高校生約 150 名の農業体験受入れや 6 組 10 名が新規就農者として定住しており、旧東和町への観光客入込数が年間約 17 万 2 千人に増加し、「道の駅」直売所等の売上は約 1 億 5 千万円に達するなど、地域の雇用・経済に重要な役割を果たしている。

当協議会の活動は、情報の収集・交換などの面においても一部公的機能の代替を果たすほか、「道の駅」の売り上げによる経済的効果も上げていることから女性を始めとした地域住民の積極的な活動意欲に結びついている。

本事例は、地域の活性化を推進する手法と行動において優れた業績をあげ、地域連携の中核を担っており地域の活性化に大きな実績を残している点が評価された。



都市の中学生の農業体験における昼食風景。田植え、稲刈り、野菜栽培や収穫、わら細工、竹細工など幅広く受入。



東京都世田谷区民祭への出店。東京都では荒川区、中野区、板橋区、墨田区でも出店交流を実施。

福島県 二本松市 (にほんまつし)



国勢調査人口					(単位：人)	
昭和 35 年	昭和 45 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年		
75,634	68,117	67,269	66,077	63,178		
人口増減率					(単位：%)	
H17/S35	H17/S45	H12/H7	H17/H12	高齢者比率	若年者比率	
△16.5	△7.3	△1.8	△4.4	24.5	16.6	

交通のご案内		団体連絡先	
自動車	東北自動車道二本松 I C から国道 4 号線県道 62 号線を経由 30 分	道の駅「ふくしま東和 あぶくま館」内 NPO 法人ゆづきの里東和ふるさとづくり協議会 〒964-0111 福島県二本松市太田字下田 2 番地 3 TEL. 0243-46-2113 E-mail: yuukinosato@piano.ocn.ne.jp	
鉄道	JR 東北本線二本松駅からバス 50 分		
飛行機	福島空港から車で約 60 分		